

ソニー・太陽(株) インクルージョン・ワークショップ



開催日：2015年7月29日 開催地：ソニー・太陽株式会社（大分県速見郡日出町）

主催：ソニー・太陽株式会社／後援：公益財団法人ソニー教育財団

参加者：日出町立豊岡小学校 25名 大分県立日出支援学校 10名

ボランティア スタッフ：日出総合高校 12名 大分高等専門学校 3名

指導員：ソニー・太陽株式会社 6名

ソニー・太陽は、全社員の約 70 パーセントを障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社でソニー圏では国内におけるマイクロホン基幹工場です。インクルージョン・ワークショップとは、障がいのあるなしに関係なく、ダイバーシティ&インクルージョン（一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること）を体験することにより、相互理解を深め、またソニー・サイエンスプログラムの主旨でもある科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラムです。今回はペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホンに挑戦して頂きました。



玄藤社長のあいさつ、スタッフの自己紹介です。
名前だけではなく、それぞれにある障がいについても簡単に説明しました。



続いて、各グループ内でも自己紹介が行われ、みんなトモダちに。



ソニー・太陽やソニー・サイエンスプログラムの説明もさせて頂きました。
材料や道具の確認をして、待ちに待った工作開始。





難しいところは、トモダチ同士教え合って。



ホルマル線が上手く巻けたようです。音は出るかな？



想像以上のクオリティーにびっくり！
音が出る原理についても、しっかり勉強しました。



ヘッドバンドに加工中の牛乳パックを使って。発想力豊かです！
デコレーションも手を抜きません。世界でひとつのヘッドホンですから。

修了証授与



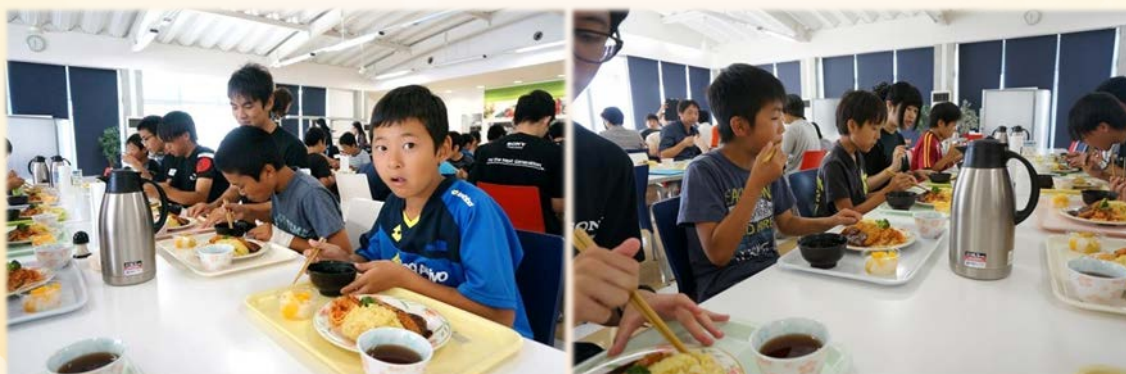
みんながんばりましたので、修了証をお渡ししました。



ボランティアの高校生もご挨拶。良い経験になったようです。



視察に来られたソニー教育財団の西谷理事長
子どもたちにエールを送って下さいました。



参加者全員で社員食堂での昼食。その後、工場見学をして
プログラムが終了。夏休みの思い出になったと思います。